

# 研究実施のお知らせ

2024年12月20日 ver.1.1

## 研究課題名

中枢神経由来検体の術中迅速診断時に、組織標本と捺印細胞診標本を併用する有用性

## 研究の対象となる方

2019年11月から2024年10月の間に島根大学医学部附属病院で脳腫瘍と診断され、術中迅速病理診断を受けられた方

## 研究の目的・意義

組織標本と捺印細胞診標本の所見を比較検討し、迅速診断に有益であった捺印細胞診標本の染色方法、組織所見、細胞所見、また、特に有用な組織型を明らかにすることを目的とします。

## 研究の方法

1. 利用する試料・情報
  - 術中迅速病理診断時に作製した組織標本および捺印細胞診標本
  - 術中迅速病理診断ならびに最終的な組織診断情報
2. 利用する試料・情報の取得方法
  - 標本は、手術時の診断後、病理部にて保管されていたものを使用します。
  - 病理診断情報は、病理部情報システムから取得します。
3. 個人情報の取扱い
  - 標本ならびに情報は、識別可能な研究用識別番号を付与したのち匿名化します。患者IDと付与した研究用識別番号の対応表を別々に保管いたします。
  - 患者さんの氏名等、個人情報は本研究に用いません。
4. 研究の方法
  - 迅速診断標本のみで診断した症例を①群、迅速診断標本と捺印細胞診標本を合わせて診断した症例を②群とします。
  - ①②各群の迅速診断標本（HE染色標本）において、迅速診断の決め手となる組織学的所見（組織構築と細胞配列、細胞像）と組織学的迅速診断（組織迅速診断）および最終的な組織診断（永久標本診断）の情報を抽出します。

- ②群の捺印細胞診標本において、観察される細胞学的所見を抽出し、さらに推定される細胞学的迅速診断（細胞迅速診断）を抽出します。
- ②群の組織迅速診断と細胞迅速診断を比較し、組織迅速診断が的中した細胞迅速診断の組織型とその症例数、的中率を算出します。
- 的中率から有用と判断された組織型と、同様の組織迅速診断がなされた症例を①群より抽出します。
- 抽出された症例の組織学的所見と細胞学的所見を比較し、捺印細胞診に有用な染色方法を解析します。

### 研究の期間

2025年1月19日～2025年12月

### 研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

### 研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院病理部 荒木 亜寿香

### 試料（検体）・情報の利用停止

ご自身の試料（検体）・情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2025年5月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

### 相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の試料（検体）・情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院病理部 荒木亜寿香

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2426 FAX 0853-20-2425